

平成21年10月30日

各 位

上場会社名 東洋製罐株式会社  
 代表者 取締役社長 金子俊治  
 (コード番号 5901)  
 問合せ先責任者 常務執行役員総務部長 清水泰行  
 (TEL 03-3508-2113)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	700,000	14,500	13,500	6,000	29.14
今回発表予想(B)	680,000	12,000	12,500	3,500	17.00
増減額(B-A)	△20,000	△2,500	△1,000	△2,500	
増減率(%)	△2.9	△17.2	△7.4	△41.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	733,746	9,246	7,070	△8,895	△43.20

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	330,000	5,000	10,500	6,000	29.14
今回発表予想(B)	326,000	3,000	8,000	3,500	17.00
増減額(B-A)	△4,000	△2,000	△2,500	△2,500	
増減率(%)	△1.2	△40.0	△23.8	△41.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	353,043	2,543	7,295	△4,329	△21.03

## 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、売上高は、主に飲料容器および鋼板の販売が当初予定より大幅に減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。利益面は、売上高の減少による売上原価の低減やコスト削減効果などの利益の押し上げ要因がありますが、売上高の減少にともなう利益の減少を補うまでには至らず、前回予想を下回る見込みです。

通期個別業績予想につきましては、売上高は、飲料容器の販売が当初予定より大幅に減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。利益面は、売上高の減少にともない前回予想を下回る見込みです。

以上の理由から、平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上